

## 第6学年4組 学級活動指導案

1. 日時・場所 令和元年6月5日(水) 5校時 (13:40~14:25) 6年4組教室

2. 議題「1年4組ともっと仲よくなるための集会をしよう」

学級目標 「HERO~絆~」

3. 議題について

(1) 児童の実態(男子18名 女子11名 計29名)

本学級は、活発な児童が多く、元気で楽しい学校生活を送っている。6年生として1年生の手伝いに行く時には、喜んで行く姿も見られ、とても優しい一面をもっている。その反面、学習に対して消極的な児童が多い。自分の気持ちを伝えることに抵抗を感じ、なかには発言させようとするとう泣き出してしまう児童もいる。人の意見を聞くことに対しても苦手意識があり、集中力が続かない場面もある。自分から思いや考えを伝えることや相手意識をもたせていくことなどが課題となっている。

最高学年としてあるべき姿について、この2か月で何度も全体で確認してきた。徐々に意識が芽生え、「1年生を迎える会」や「運動会」など、行事を重ねていくことで、最高学年としての役割を見事に果たしてきた。そんな学級がめざす学級目標は「HERO~絆~」である。この1年間を最高学年として送るために、「下級生をまとめられる」「頼られる」「あこがれられる存在になる」など、自分たちが描く6年生の姿を学級で出し合った。そこで、どの姿も当てはまる言葉はないかと考えていくうちに「HERO」という言葉が児童から出てきた。また、この最後の1年を「明るく楽しい助け合えるクラスにしたい。」という児童の思いから、「絆」という言葉を入れたいという意見もあった。そして、決まった学級目標が「HERO~絆~」である。この学級目標の言葉には6年生になった児童の様々な思いがこめられている。

学級活動では、「6年生になって」や「運動会を成功するためのめあて」など、自分のめあてをもって学校生活を送れるように指導してきた。また、学級会は、本時を迎える前に2回行った。第1回目の「スタート集会をしよう」では、クラスの仲が深まるための遊びを話し合った。意見は少数であったが、誰もが納得して「どろけい」の遊びに話がまとまった。実践では、クラスの仲間を助ける場面や笑い合える場面など、誰もが楽しみ、大成功に終わった。第2回目の学級会では、「学級目標のデザインを考えよう」について話し合った。運動会後ということや、少ない時間の中で準備を進めたこともあり、発言に抵抗を感じている様子だった。「デザインのない学級目標でいいのか。」と全体に確認したところ、「それは嫌だ。」という声が多かった。しかし、「どんな理由を言えばいいかわからない。」「最初に自分の意見が出ていた方が言いやすい。」などの意見もあり、後日改めて学級会をすることになった。中断した時よりも、発言する児童が増えた。次々にデザインが決まっていくことでイメージができてきたのか、喜んでいる児童の姿もあった。しかし、中には「理由が言いにくい。」「理由を言わなければ言える。」という声もあった。

「どの意見もよさそうだから、全部取り入れればいいのではないか。」と話し合いの必要性のなさを感じている児童もいた。児童にとって話し合う必要性のある議題でないと、話し合いが深まらないことを痛感した。「今日のグッドさん」や「振り返り」の時間では、言葉で相手に伝えることが大切であることを全体で再確認した。振り返りの中で、友達のよさをたくさん見つけることができていたのは、大きな収穫である。また、「発言できなかったから、次は発言する。」と2回目の学級会を通して新たな課題を見つけることができた児童もいた。

今回は、この経験をふまえ、自分たちのクラスをよりよくしていこうとする学級活動になることを期待している。

## (2) 議題選定の理由

運動会后、議題ボックスには「集会を行いたい」「1年4組と遊びたい」という意見が寄せられた。特に、1年4組と遊びたい理由として「1年4組と交流することで仲が深まり、6年生として成長できるのではないか」という学級に対しての強い思いが感じられた。普段の様子からも1年生の様子を気にかける姿を何度も目にしてきた。今回の学級会や集会を通して、1年生と関わることの喜びや、6年生として主体的に関わっていかうとする気持ちを育てていきたい。このことから、「1年4組と仲よくなるための集会をしよう」という本議題を選定した。

前回の学級会で課題となった「自分の思いや考えを伝える」や「児童にとって必要性のある議題」などを意識し、学級活動を通して、仲間と共に協力し合い、つくり上げていくことの達成感や連帯感を味わせた。また、一人一人が活躍することによって自尊感情や自己有用感も高めていきたい。

## 4. 評価規準

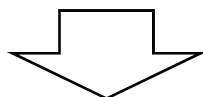
| 集団活動や生活への<br>関心・意欲・態度                                     | 集団の一員としての<br>思考・判断・実践   | 集団活動や生活についての<br>知識・理解  |
|---|---|--|
| 学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。 | 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。 | みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。 |

## 5. めざす子どもの姿に迫るための手立て

研究テーマ

互いのよさを生かし合い、一人一人が輝く特別活動

～仲間と共に歩む姿をめざして～



高学年のめざす子どもの姿

○自分の思いや考えをもち、自分の言葉で伝える子

【自分に自信をもてる姿】

○仲間を大切にし、仲間と共に歩もうとする子

【仲間と共に歩もうとする姿】

○自ら考え判断し、行動に移せる子

【自分たちの生活は自分たちでつくっていかうとする姿】

【自分の思いや考えをもち、自分の言葉で伝える子】(自分)

#### ○一人一人が自分の意見を明確にもつための「話し合い活動カード」の活用(事前)

児童一人一人が自分の意見を明確にもつために「話し合い活動カード」を活用し、事前に自分の考えをまとめることで、誰もが話し合いに参加できるようにした。また、準備の際に、司会へ「〇〇さんがこういう考えをもっている。」と伝えることができる。誰もが意見を持ち、それを表出できるチャンスを広げ、様々な意見を生かした話し合いとなるようにする。

#### ○自分の意見を意欲的に伝えるための励ましのコメント(事前)

「話し合い活動カード」に書かれた児童の意見に対して、発言を促すようなコメント(言葉かけ)を書くことによって意欲的に発言できるようにする。

#### ○自分の思いや考えを伝えることの指導

発言に消極的な児童の実態から、「紙に書いて気持ちを伝えることもできるが、自分の思いや気持ちは、言葉で伝えることで、より相手に伝わる」ということを日々指導している。

【仲間を大切にし、仲間と共に歩もうとする子】(仲間)

#### ○めあてに沿った学級会になるための事前指導(事前)

今回の学級会のめあての中に「1年4組ともっと仲よくなる」という言葉がある。今よりももっと仲よくなるとはどういうことか、めあてに沿った学級会になるようにクラスで共通理解をするための時間をとる。

#### ○めあてや提案者の思いを意識した話し合い(事前・学級会)

自分の意見を通すために「〇〇だから反対です。」のような否定的な意見で終わるのではなく、「だから、こうした方がいいです。」「だから、〇〇に賛成です。」といった、友達の考えを生かしたり良さを見つけたりしながら解決に向かう意見を言えることが望ましい。そこで、自分の意見だけにとらわれず、相手意識をもって話し合いが行えるよう事前に確認しておく。また、批判的な意見で話し合いが別の方向にそれた場合は、担任から助言し、友達の意見の良さに目を向けるようにしていく。

#### ○相手意識をもたせるための工夫

普段の授業の中で、発言をする際の立ち位置や、発言をしている人を見るなど、常に相手のことを考えることの大切さを指導している。

相手の顔を見て話を聴き、相手の意見を大切にできるように、机の配置をコの字型にする。

#### ○今日のグッドさん(学級会)

友達のよいところを見つける活動を意図的に取り入れることによって、仲間意識がよりよい方向に向かっていくことをねらいとしている。また、学級活動を通して、他の学習にも浸透していくことも期待できる。

【自ら考え判断し、行動に移せる子】(生活)

#### ○実践及び実践に向けて一人一人の活躍の場の提供(事後)

学級会だけでなく、その後の実践でも一人一人が輝いてほしいと願っている。そのために、準備の時間を十分に確保し、誰もが自信をもって活動できるように声かけをしていく。

#### ○振り返り活動(学級会・事後)

学級会を積み重ねていくにあたって、必要不可欠なのが、振り返り活動である。良くも悪くも学級の実態に気付くことによって、向上心が生まれてくる。

#### ○一人ひとりのめあてカード

学級活動(3)の「6年生になって」や「運動会のめあて」の学習で、一人ひとりが目標をもって学校生活を送れるようにしている。

## 6. 活動の実際

### (1) 事前の活動

| 活動の場                       | 活動内容  | 支援（○）と評価（☆）   |
|----------------------------|---|---|
| 5月27日（月）<br>朝の会            | ・司会グループで議題を選定する                                 | ○学級会へ向け、司会グループを中心に学級目標に近づけるような議題を選定するよう助言する。<br>☆学級や学校の充実と向上に関心を持ち、次の学級会で話したいことについて主体的に考え、実践へ向けて行動しようとしている。<br><br>（集団活動や生活への関心・意欲・態度）  |
| 5月29日（水）<br>中休み            | ・司会グループと提案者で話合いのめあてや役割分担、学級会の進め方について話し合う。       | ○話合いの進め方シートを用意し、企画の話合いを進めるように助言する。<br>☆司会グループの役割や話合い活動の準備の仕方など、効率的な進め方を理解している。<br><br>（集団活動や生活についての知識・理解）   |
| 5月30日（木）<br>帰りの会           | ・司会グループから議題や話合いのめあて、提案者の思いについて伝える。              | ○事務的な伝達ではなく、児童のやる気を引き出すような伝え方ができるように助言する。<br>○「めあて」や「提案者の思い」について共通理解ができるように助言する。<br>☆議題について受け止め、話合いの方向性について見通しをもっている。（集団活動や生活についての知識・理解）  |
| 5月31日（金）<br>朝の会<br><br>中休み | ・アイデアカードを出す。<br><br>・出されたアイデアを短冊に整理して書く。        | ○話合い「集会で何をどのようにするか」についてのアイデアをカードに書くように伝え、事前に意見を把握しておくことで、話合いの方向性を確認できるようにする。<br>☆議題について自分の考えを持ち、学級会へ向けての見通しをもっている。<br><br>（集団活動や生活についての知識・理解）   |
| 6月 3日（月）<br>朝の会<br><br>中休み | ・短冊を見ながら、自分の考えを話合いの活動カードに記入する。<br>・出された意見を確認する。 | ○短冊からめあてと合うものを選ぶように伝える。<br>☆効率的な司会グループの運営や話合いの活動計画について考え、準備している。<br><br>（集団の一員としての思考・判断・実践）<br>○話合いが円滑に進むように、事前に意見を把握しておくことで、話合いの方向性を確認できるようにする。<br>☆話合いの方向性について見通しをもっている。<br><br>（集団活動や生活についての知識・理解） |
| 6月 4日（火）<br>朝の会            | ・司会グループ・提案者で学級会の進め方について最終確認する。                  | ○可能な限り、自分たちで計画できるよう見守り、必要に応じて助言する。<br>☆効率的な司会グループの運営や話合いの活動計画について考え、準備している。<br><br>（集団の一員としての思考・判断・実践）  |

(2) 本時の活動

①ねらい

自分の思いや考えを伝え、相手の意見も大切にし、1年生と仲よくできる集会の内容を話し合っ  
て決める。

②活動計画

| 児童の活動   | 支援(○)と評価(☆)   |
|---|---|
| <p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認<br/>「1年4組と もっと仲よくなるための集会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認<br/>「1年4組のいろいろな子と仲よくなることで、下級生にやさしく、信頼される6年生に近づけると思い、提案しました。」</p> <p>5. めあての確認<br/>めあて<br/>「1年4組のいろいろな子と仲よくなるためにすることを考えよう」</p> <p>6. 決まっていることの確認<br/>・日時 6月19日(水) 3時間目<br/>・場所 校庭<br/>・プログラム</p> <p>7. 話し合い<br/>「集会で何をどのようにするか」</p> <p>① 出し合う(事前)<br/>② 比べる<br/>③ まとめる</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 振り返り</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. おわりの言葉</p> | <p>○相手の顔を見て話を聴くことができるように、机の配置をコの字型にする。</p> <p>○司会は、進行シートを見ながら進められるように助言する。</p> <p>○提案者が、どんな思いで提案をしたのかがクラス全体に伝わるように、事前に確認や助言をしておく。</p> <p>○めあてを意識した発言ができるように、事前に司会グループに助言をしておく。</p> <p>○事前に司会グループを中心に、プログラムを決めておくことで、話し合いの内容を明確にできるようにする。</p> <p>○進め方につまずいた時は近くで助言する。<br/>○話し合いのめあてからそれそうな時は、めあてを確認するよう声をかける。<br/>☆よりよい学級や学校の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的に話し合っている<br/>(集団の一員としての思考・判断・表現)<br/>☆司会グループとして司会や記録などの役割を積極的に果たしている。<br/>(集団の一員としての思考・判断・表現)</p> <p>○司会グループの頑張っていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見つけて、称賛し、意欲をもって取り組めるようにする。</p> |

③本時の視点

- ・めあてを意識して話し合いをすることができたか。
- ・教師の言葉かけは適切だったか。

④板書計画

第3回 6年4組学級会

議題

「1年4組ともしっかり仲よくなるための集会をしよう」

提案理由

1年4組のいろいろな子と仲よくなることので、下級生にやわらかく、信頼される6年生に近づけると思い、提案しました。

めあて

めあて「1年4組のいろいろな子と仲よくなるためにすること考えよう」

話し合い

集会で何をどのようにするか

- ・ばくだんゲーム
- ・進化じゃんけん
- ・バナナおに
- ・手つなぎおに
- ・どろけい
- ・ふやしおに
- ・おんぶおに

決まったこと

今日のグッドさん

ふり返り

先生の話

決まったこと

- ・日時 6月19日(水) 3時間目
- ・場所 校庭
- ・プログラム
- ①はじめの言葉
- ②(仲よくなるためにすること)
- ③感想
- ④終わりの言葉

(3) 事後の活動

| 活動の場              | 活動内容             | 支援 (○) と評価 (☆)   |
|-------------------|------------------|--|
| 6月 6日 (木)<br>朝の会  | ・役割分担を決める。       | ○これまでの経験から必要な役割を考えるよう助言し、考えて全員で分担するようにする。<br>☆必要な役割分担を考えている。<br>(集団の一員としての思考・判断・実践)                          |
| 6月 6日 (木)<br>中休み～ | ・役割分担に基づいて準備をする。 | ○協力して準備ができるよう声をかける。<br>☆決まった役割の準備を協力して進めている。<br>(集団の一員としての思考・判断・実践)  |
| 6月19日 (水)<br>3校時  | ・交流会を行う。         | ○安全に取り組みやすいように見守り、必要に応じて助言する。<br>☆自他の役割などについて考え、みんなで決めた内容について信頼し、支えあって実践している。<br>(集団の一員としての思考・判断・実践)         |
| 6月19日 (水)<br>帰りの会 | ・実践後の振り返りを行う。    | ○振り返りカードにめあてに沿った実践ができたかということを中心に振り返りを書くように伝える。<br>☆みんなで決めたことをみんなで実践することの意義について理解している。<br>(集団活動や生活についての知識・理解) |

